

川 又 由美恵 議員



1 国史跡永納山城跡について

後世に残そう！

国史跡「永納山城跡」

問 永納山城跡は、平成17年7月に国史跡に指定されてから、今年で15年目を迎える。永納山城跡を後世に伝え活用していくための整備計画は、どのようなものか。

答

史跡永納山城跡保存整備基本計画を具現化するため平成30年度に策定した基本設計に基づき、令和2年度から2年間で南西部から山頂に至るまでの工事を行う。工事完了後は復元された城壁や景観を眺めつつ、山頂までの散策を楽しんでいただける

ようになる。令和4年度からは山頂から北側に向けての工事をを行い、永納山城跡の東半部を散策するルートを整備し、その後、城内部を体験学習などの場として整備する予定である。

基本設計で示した工事期間は工事開始から5年、概算総事業費は約1億6千300万円である。本事業は、事業費の半額を国からの補助金により実施するが、国の予算は災害に伴う文化財の復旧に重点的に分配されるため、場合によっては各年度で予定している本市への補助金が減少することも予想され、実際の工期が当初の計画よりも延長する可能性があると考えている。



永納山城跡での植樹の様子

高橋 保 議員



1 新型コロナウイルス感染症対策について
2 ローカルベンチャー誘致・育成事業について

地域に根ざした

起業家の育成に向けて！

問 ローカルベンチャー誘致・育成事業は、本市の地域資源を生かした起業を支援することで地域課題の解消を図ることがコンセプトの一つであると認識している。

起業家は、3年以内の起業実現と定住を目指し、年間最大200万円の報酬と年間最大200万円の活動経費が最長で3年間支給されることから、充実した環境で起業に取り組んでいるが、現在の成果をどう評価するのか。また、今後どのような効果が期待されるのか。

答

コーディネーター及び起業家13人の活動により、令和元年度には合計で約1千万円の売り上げを計上するほか、空き店舗などを活用した各起業家の活動拠点が市内に6か所整備されるなど、一定の経済効果が現れ始めている。

また、本事業の実施により、起業家のコーディネート機能を有する法人が令和元年8月に設立され、起業家を育てる環境整備が図られたことで、地域に根ざした新たな産業の創出と地域経済の活性化が期待されることから、引き続き地域をフィールドとしたチャレンジを応援するまちづくりの実現に向けて努力したい。



登道商店街にある拠点施設「東予人」

西条市民

クラブ

岡村 重 治 議員



1 地籍調査について
2 公共施設の長寿命化について

調査の早期完了に向けた

今後の取組は？

問 本市の地籍調査の進捗状況と今後の調査期間はどのようになっているか。

また、調査完了までに50年から60年を要すると聞いている。調査に時間がかかりすぎると調査の意味が薄れることから、調査期間を短縮して1年でも早い完了を目指すべきであるが、今後、早期完了に向けてどのように取り組んでいくのか。